

2017
vol. 05
3/6(月)

ファンタズレス

— 受賞作品 —

ファンタスティック・
オフシアター・
コンペティション部門

インターナショナル・
ショートフィルム・
コンペティション部門

グランプリ
『トータスの旅』
永山正史 監督



グランプリ
『M.boy』
キム・ヒョジョン 監督



審査員特別賞
『ベートーベン・メドレー』
イム・チョルミン 監督



審査員特別賞
『歯』
パスカル・ティボウ 監督

シネガー・アワード
『ストレンジデイズ』
越坂康史 監督

優秀芸術賞
『あたしだけをみて』
見里朝希 監督

北海道知事賞
『はめられて Road to Love』
横山翔一 監督

『タコ船長とまちわびた宝』
飯田千里 監督
『Mizbrük』
ダニエル・ドランロー 監督

スペシャルメンション
『墮ちる』村山和也 監督



ファンタズレス

¥0 (税込)



ファンタズレス

¥0 (税込)



ファンタズレス

¥0 (税込)



「鈴木直道市長に聞いてみました。」

今回の映画祭の総評をお願いします。

過去には大雪などのトラブルが度々ありましたが、今回は天候に恵まれ無事開催できてよかったです。また、今日で財政破綻からちょうど10年目ということもあり、感慨深いものがあります。

鈴木市長が考えるこの映画祭の意味と魅力は？

人材輩出や地域振興という点で映画業界と夕張双方にとって大切な存在で、特に市民にとって誇りになっています。業界を超えて、様々な立場の人々が協力し、そうして作り上げた手作り感が人々を惹きつける魅力となっているのではないのでしょうか。

この映画祭に対しての今後の抱負はなんですか？

100年続く映画祭を目指して続けていき、100周年を迎えてほしい。それを実現できる環境を作っていくことです。



國村隼トーク企画

本映画祭で招待作品「KOKORO」とクロージング作品「哭声 / コクソン」の2つに出演されていた國村隼さん。3日目の夜に行われたトーク企画。國村さんは演じる人物がどう感じるかを考えて役作りしていると語りました。映画「フラック・レイン」で一緒に松田優作さんに「一歩外に出たら見られていることを意識しろ」、「主役になったら余計なことをするな」とアドバイスされたのが印象に残っているそうです。また國村さんは、俳優はエンターテイナーであるべきで、お客さんに楽しんでもらうのが使命だと語っていました。その心意気が日本でも世界でも演技の評価が高い秘訣なのかもしれません。



縁の下の力持ちきょんきょん



私たち学生ボランティアや運営スタッフの食事を作り元気を与えてくれた松宮文恵さん(きょんきょん)。去年より客数が増えていると感じたそう。学生ボランティアに対して「皆可愛かった。例年より楽しい雰囲気が多かった。」と、言ってくれました。また、「学生にありがとうの気持ちを込めて「おかえり」と言いたい。いってらっしゃい。また帰ってきてね」と温かいメッセージをもらいました。

編集後記

5日間で5号発行いたしました。ご愛読ありがとうございました！来年の学生ボランティアによるファンタズレスもお楽しみに！

ファンタズレス

¥0 (税込)



ファンタズレス

¥0 (税込)



ファンタズレス

¥0 (税込)

